

博物館活用カード

活用学年及び時代	小学校6年 中学校	縄文～古墳時代
活用資料コーナー及び資料名	川越のあけぼの 図「縄文時代のムラ」、図「古墳時代の住居」	
資料についての解説	縄文時代のムラ 川や沼などの水辺に面した大地の上に竪穴式住居を建て、生活していた。炉は、中央に位置する。 古墳時代の住居 竪穴式住居であり、かまどが入り口と対になる方向へ。	
学習内容	縄文人や古墳時代の人々の生活（住） ・住まうための工夫や生活の移り変わり。	
〔事前の学習〕 縄文人の住居の絵をもとにして ①どんな場所に建てるかを予想する。 ②家の中には、どんなものがあるかを教科書で調べる。 〔博物館での学習〕 ① 縄文人の生活を表した絵をもとに、家の中と家の外では、どんなことをしているかを調べてみよう。 ② 古墳時代の住居の図と比べて違っているところは何か見つけてみよう。 ③ それが違うことで、生活がどのように変わってきたのかを考えてみよう。		(縄文時代のムラ)  (古墳時代の住居) 
評価の観点	・図「縄文時代のムラ」をもとに家の中や外でやっていることをたくさん見つけようとしている。(関心・意欲・態度) ・火を用いる場所の位置が変わってくることによって、生活のどんな所が違ってくるかを考えることができる。(思考・判断)	
活用のための留意事項	・教科書の挿絵等も活用すると効果的。	